

一般質問

掲載の8項目を含め14人の議員が40項目の質問を行い、町長の考えをたどしました。

災害対策

集中豪雨の対応は

雨水管の整備と排水ポンプ改善を図る

質問 七月二十四日の大雨で浸水被害が発生したが、その対策はどのようになっているのか。

また、尾崎川付近と曾田地区はどのような状況になっているのか。

答弁 東広島バイパス下の雨水の幹線整備が進行中で、その効果をみるとともに、その接続水路の改善を考へる。

特に、尾崎川による浸水対策は、止水壁を新たに設置し溢れ出しを防ぎ、排水ポンプの改善については県に要望した。また、曾田地区においては仮設ポンプから本格的なポンプ場を新たに設置することを考へている。



対策が待たれます（東小学校横）

小中学校や公共施設の対策は

手洗いやうがいの励行などを徹底

質問 広島県教育委員会は、県立学校に毎朝健康チェックなどの徹底を通知しているが、本町の教育委員会は、どのような対策をしているのか。

また、公共施設の対策はどのような状況になっているのか。

答弁 各小中学校では、児童生徒の健康観察の実施と手洗いやうがいの励行など保健指導の徹底に努めている。

また、各公共施設の対策は、入口に「手洗いやうがいの励行や症状が出た方のマスクの着用、外出の自粛、人に咳やくしゃみかけない咳エチケットの徹底」を掲示し、手指消毒液を配置して、感染防止に努めている。



手洗いやうがいを忘れずに

新型コロナウイルス

公立学校のレベルアップを

確かな足跡づくりを行う

質問 私立に比べ費用負担の少ない公立学校教育の充実が、少子化対策としても重要である。

教育委員会はどのような方針で学校教育のレベルアップを図るのか。

答弁 教育委員会は、教師が海田の児童生徒にしっかりと力をつけられるよう、「授業で勝負できる教師」を育成することや、校長を中心に学校が組織的に機能できることなどを全面的に支援している。保護者・地域の方々の支えとともに、確かな足跡づくりの中で教育効果の向上を図る。



確かな足跡づくりを

学校教育

小中学校での取り組みはどうか

命の問題として指導している

質問 最近、芸能界のみならず、大学生から中学生まで薬物汚染が広がっている。これを防止するためには、薬物の怖さを感じただけ早く教育する必要はある。現在、小中学校での取り組みはどうか。

また、県の薬物乱用防止キャラバンカーを学校行事に呼んでPRしてはどうか。

答弁 各小中学校では、保健体育などの授業で、薬物の危険性、有毒性について、自分の将来の健康と命の問題として指導を行っている。

また学習効果を高めるために警察官などにより防犯教室を実施しているが、キャラバンカーの要請も検討する。



薬物乱用防止キャラバンカー

薬物乱用防止教育

平成三十四年度の開通を目標

質問 町道六号線バイパス事業の完了はいつか。
また、用地買収が難航している案件に補償金仲介制度を利用してはどうか。

答弁 平成三十四年度の全線開通を目標にしている。
用地買収については、これまで任意交渉で用地を取得してきた。引き続きねばり強く交渉を行うが、必要に応じてこの制度の活用を考える。



完成が待たれます

町道6号線バイパス

処分すべきではないか

一カ所は売却する

質問 海田市駅南口の区画整理事業の規模を縮小変更したので、変更前の区画整理事業で取得して、現在不要となった用地を売却処分すべきではないか。

答弁 国の補助金で購入した土地については、売却できないので、地区計画で整備する道路、公園などにあてて。
その他の土地の一カ所は、売却する予定で、残りは地区計画で新たに必要となる事業地の代替用地として活用する。

事業用地の整理



有効利用が待たれます

運行形態の変更は

来年三月に判断

質問 今後の循環バス運営への取り組みや中国運輸局の「公共交通活性化総合プログラム（活プロ）」での循環バスの増便や改善の進み具合はどうなっているのか。
また七十五歳以上の方に無料乗車券の交付はできないか。

答弁 活プロで、利用されやすい運行を検討している。
八月二十五日には循環バスへの乗り込み調査をした。十月に循環バスの改善などについて住民アンケートを実施する。
この活プロの検討結果を待つて平成二十二年三月に運行ルール変更と便数について判断する。
七十五歳以上の無料乗車券の交付は考えていない。



活プロで検討中

循環バス

補助金を出す考えはないか

前向きに検討する

質問 太陽光発電は、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出がなく、永続的に利用できるクリーンエネルギーとして、普及が進められている。
国は、住宅用太陽光発電システムの設備費用に対する補助制度を復活させた。
本町でも補助金を出す考えはないか。

答弁 地球温暖化対策として注目されている太陽光発電の活用推進は、重要であると認識している。
補助金については、財源の確保を考慮しながら、前向きに検討していく。

太陽光発電



クリーンエネルギーの普及を